

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ新ノ口		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 4日		～ 令和 7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員で全利用児の症例検討を行っているため目標や課題の共有が行えている	作業療法士がいることで保育・支援職とは違った視点で子どもをみることができる	関係機関含め多くの視点で子どもを見ていくことで今よりもっと子どものことを見ていきたい
2	新しい事に取り組むまでのスピードが速い	「どうしよう」と考えるよりも実践してから改善点を話し合い子どもや職員と一緒に楽しめる工夫を行っている	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者対応や関係機関連携において限られた職員対応になってしまう	経験年数の浅いスタッフにおいて、外部支援や自己判断に対する不安がある	訪問専門員に同行することで経験を積んだり管理者同席のもとケース会議等の参加機会を増やす
2	検査評価に時間が掛かってしまう	専門職が常勤でないため	
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025年 3月 17		
リハビリ発達支援ルームUTキッズ新ノ口		公表日				2025年 1月 4日 回収数 16		
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	0	・のびのびと活動させてもらえます ・走り回れるスペースがしっかりあるので子どもも喜んでいる ・色々な運動ができるように考えられている	子どもたちの活動に合わせてスペースを確保していきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	1	・食生活などの生活の改善があります ・健康、食生活が改善しやすくなっています。インターベンションを押しつけておらず、保護者が自ら来たことに基づいていない等があります。また、子どもたちの健康と関心されているので、実際の健康は十分改善されている	・曜日、時間によっては対応を変えています ・全スタッフが研修に入っている機会があるが、お返しの時にはインターフォンに注意を向けるよう努めます
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になっていると思いますか。	15	1	0	0	・子供が喜び、考え、楽しめる道具が多いです ・マット類などのわずかな段差が子供にしたらつまずきやすいかもしれない	子どもたちに楽しんでもらえるよう安全にも日々工夫しながら療育を行っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15	1	0	0	・とても綺麗です ・トイレが広いのが良い(トイレではなくビルド部になると思うのですが)	・療育室外には毎日清掃、洗濯を行っています ・トイレの待合スペースには清潔感のよい清潔なタオルを複数枚用意し、手洗いや消毒を促すよう努めています
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	2	・先生も親身です ・時間をかけて子どものことを理解してくれ、様々な対応方法を考えてくれた	お子さまの段階に応じて見直しを行い保護者の方と合意形成を図っていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1	子供の発達が進みました	引き続き子どもたちに楽しんでもらえるよう日々工夫しながら療育を行っています
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2	0	1	モニタリングなども親身になって話を聞いてくれている	お子さまの段階に合わせて見直しを行い保護者の方と合意形成を図っていきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	2	この先生が保育士、PT、STなのかわからない	UTキッズは多職種連携で療育を実施しています 施設職員については重要事項説明書に記載している通りです
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	6	0	7	3	・こちら側が伺っていないので、事業所と聞いているのではないが、要すれば支援してくれるように思う ・幼稚園が対応していない為	交流の機会があれば参加していきたいと思えます
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修や情報提供の機会が行われていますか。	9	3	0	4	連絡についての相談会があったが、参加していない	必要に応じて適宜実施していきます
	保護者 への 説明 等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	12	3	1	0	
16		定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	1	もう少し前向きな状況を話せる機会を増やしたい	家族支援加算を活用していただき、保護者の方と子どもたちの情報共有や相談援助を行えるようにしていきます
17		事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	0		
18		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2	2	8		
19		子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	3	0	3	もう少し気軽に話せる場が欲しい	家族支援加算を活用していただき、保護者の方と子どもたちの情報共有や相談援助を行えるようにしていきます
20		子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	1	1		
21		定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	8		
22		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	2		
非常 時 等 の 対 応		23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	0	6		
満足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	2年目になり、楽しみにするようになった	・子どもに楽しんでもらえるよう日々工夫しながら療育を行っています ・保護者の方にも安心してご利用できるように努めています
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ新ノロ			公表日	2025年 3月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・十分なスペースは確保されている		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・定員や配置数は適切	・イレギュラー対応時に備えて職員の増員検討	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・施設内はバリアフリー化されている ・構造化においては不十分ではあるが特性に応じた課題や環境の工夫はその都度実施している	・ビルの共有部については保護者に理解を得る (トイレ・駐車場・廊下等)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・清掃時には喚起も行い清潔を保っている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・相談室を利用している		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・事業所目標に対し年3回振り返りを行っている		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・直接の声やアンケートを行っている		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員間で都度意見を出し合い業務改善に向け働きかけている		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・特になし		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法人研修に参加している		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・個別での計画書作成を行っている		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・半年毎に保護者とモニタリングを行っている		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・全利用児全職員で症例検討を行っている		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・症例検討で目標を決めているため共有している ・支援前にも計画書を見直す習慣化ができて		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・日々の行動観察やFBでの保護者の声から行っている ・一部実施しているが割合的にはまだ不十分		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・必要に応じて家族支援や関係機関連携を行っている		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・個別ではニーズに合わせてその時々で遊びの共有を行っている		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・職員間で遊びの共有を行っている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	・現在、自発は個別療育のみ	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・同時間利用の際同じ遊びを行う時には話し合いを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・毎回ではないが気づいたことは必ず共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎回日々記録を入力している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・半年ごとに保護者とモニタリングを行い見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・全職員で情報共有を行い、主に管理者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・まだ事例は少ないが必要に応じて連携を取れる体制である	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・まだ事例は少ないが保護者の意向も確認しながら関係機関と連携を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・まだ事例は少ないが計画書にて情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	・支援センターから検査結果等郵送していただけ ・地域の児童発達支援センターのスーパーバイズが機能していないために機会がない	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	・特になし	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・毎回支援終了時にFBを行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・入口にチラシや掲示物を設置している ・まだ研修の機会はないが今後実施予定		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・インテークや問い合わせ時に対応している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・半年ごとにモニタリングを行い計画書を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・更新ごとに援助方針等踏まえ説明を行い同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・必要に応じて管理者が家族支援を行っている ・必要に応じて子育てサポートを行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	・保護者同士の交流の機会は設けられていないがきょうだい同士の交流の事例はある	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	・職員間で共有を行い迅速に対応できるよう努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・Instagramを活用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・鍵付き棚に保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・イラストを用いて視覚提示している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・特になし	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルを常に確認できるよう入口に掲示している ・訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・発達記録に記入をお願いしている ・必要に応じてかかりつけ医を伺っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・クッキングイベントを行う際には保護者に再確認を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・実施している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	・インテークに時説明している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・必ず共有を行い再発防止を心掛けている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・実施している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	・個別計画書には記載していないがインテーク時に説明を行っている	・家族との連携はまだ不十分であるので有事の際の対応について周知していきたい	